僕は先生

小坂井中・2 大原 諭

諭先生

僕が「先生」と呼ばれた

六月の職場体験の三日間
体験する職場は幼稚園
僕が通っていた幼稚園

お世話になった先生が姿を現した
何となく気恥ずかしい
でも 何となくうれしい再会
エルマーの冒険が大好きだったこと
いつも工作ばかりしていたこと
ブランコで吹っ飛ばされたこと
小さかった僕を知っている先生

ついにはじまった職場体験
まあ簡単だろう そう思っていた

クラスには二十三人の園児
想像よりも小さかった園児
皆の前で初めての自己紹介
二十三人が僕にくぎ付け
めっちゃ緊張した

読み聞かせの時間

僕は絵本を読んだ

読み聞かせは大得意のはずなのに

皆の視線は僕に いや絵本にくぎ付け

これが僕の実力

でも 先生が絵本を読むと

先生の声と表情は七変化

教室が絵本の世界に包まれる

そんな先生にあこがれている

遊びの時間

ボタンと園児が転んだ

どうしよう どうしよう

あたふたしている

先生が声をかけ

さっそうと登場し 手当した

すると園児はニコツと笑顔

何もなかったように時が戻った

そんな先生にあこがれている

工作の時間

僕はタケコプターを作っていた

「諭先生わたしにも作り方教えて」

僕は園児に囲まれた

牛乳パックで作るタケコプター

つくり方を教えてあげると

真剣に取り組む園児たち

完成すると

「諭先生これ見て」

とてもうれしそうに笑っている

そのとき「諭先生」になれた気がした

諭先生

僕が「先生」と呼ばれた

すこし「先生」になれた気がする

記念すべき先生への第一歩

そして未来では

僕が先生になれるように